

令和時代の子育てキーワード

令和2年度をふりかえると、「新型コロナウイルス感染症対策」で象徴されるように、「経験したことがない」、「先読み困難」な一年だったと思います。

子どもたちに、今後同じようなことが起きた時、その中でも、たくましく生き抜いていくために、「親として何ができるのか」と考える日も、多かったことと思います。

そこで、今号では、令和時代の子育てにおいて、親として知っておくと役立つ情報について、楽しみながら読めるようにクイズ形式でお届けします。ご自身の子育ての参考として、または、親子のコミュニケーションのツールとして、ご活用ください。

1 新聞やネット等で話題となった 次の①～⑧の“カタカナ”の言葉の 意味や説明文を探して線で結んでみよう。

★「意味や説明文」については、親子の会話にも使えるように簡単な表現で書かせていただきました。

【キーワード／話題の言葉】

◇ 日常生活編 ◇

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| ① ソーシャルディスタンス ● | ● ① 感染防止のため、確保した方がよいとされる身体的距離 |
| ② オンライン ● | ● ② インターネット等につながっていて、利用できる状態のこと |
| ③ リモート ● | ● ③ ICTを利用し、いつもの職場から離れた場所で働く働き方 |
| ④ テレワーク ● | ● ④ 遠い、離れている、遠隔 |

☆ 子育て編 ☆

- | | |
|---------------|---------------|
| ⑤ メタ認知 ● | ● ⑤ 自分を客観視する力 |
| ⑥ グリット ● | ● ⑥ 折れない心・回復力 |
| ⑦ レジリエンス ● | ● ⑦ やり抜く力 |
| ⑧ セルフコントロール ● | ● ⑧ 自制心 |



⑤～⑧は、「非認知能力」の一部でもあります。「非認知能力」とは簡単に言うと「学びに向かう力や姿勢」を意味します。

正解は… ①-1、②-2、③-4、④-3、⑤-5、⑥-7、⑦-6、⑧-8

2 次の①、②、③に当てはまる数字はいくつでしょう。

【キーワード／“大人”になる年齢】

令和 ① 年4月から、
成年年齢が ② 歳から、
③ 歳に引き下げられます。

正解は… ①4 ②20 ③18

成年年齢の引き下げに伴い、心配されるトラブルの中で、「契約」に関する問題がクローズアップされています。「まだまだ先のこと」と思わず、
特に、中学生・高校生のお子様をもつ保護者様には、
以下の内容について、ぜひ、親子の話題にしていただければ幸いです。

親子で考えよう「契約」

そもそも「契約」って？

契約とは、当事者の合意（申込と承諾の一致）で成立し、法的な責任が生じる約束事のことです。契約書がなくても、口約束でも契約は成立します。実は、私たちが普段何気なくしている買い物やサービスを受けることも契約なのです。

子どもだけでもできる契約

お店でお菓子を買う
バスに乗る
自動販売機でジュースを買う
美容室で髪を切る
遊園地で入場料を払って遊ぶ など

未成年でも保護者の同意があればできる契約

ネットショップで服を買う
スマホゲームに課金する
携帯電話を契約する
クレジットカードを作る
ローンを組む など

※成人になると…

保護者の同意なしに契約できるようになります。



と言われても、どうやって子どもに伝えればいいの？

◎参考例(年齢に合わせた伝え方)

★ 小学校中学年までの場合 ★

「契約」の話はちょっと難しいので、
まずは、
「約束を守ること・忘れないこと」、
「無理のない約束をすること」
などから、アプローチをしてみてください！

★ 小学校高学年以上の場合 ★

成長に合わせて、「約束の中身は正しいかどうか」や大人になったときの約束(契約)に、ちょっとでも疑問を感じたときは、自分だけで判断せず、「周りの人(特に親)に相談しても恥ずかしいことではないこと」などについて話をするのもいいですね。

3 親学クロスワードにレッツ・トライ!

マスにはすべてひらがなが入ります。

二重マスの文字をA~Hの順に並べてできる言葉は何でしょうか。

【キーワード／親としての「学び」「気づき」】

1		2			3
	H	B	D		
				4	
				F	
5	6		7		
			C	A	
	8	9			10
	G				
11				12	
		13			
			E		

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

この言葉には、子ども自身が、「自分は大切な存在だ」、「自分には価値がある」などの気持ちをもつこと、「こころの土台となる大切なもの」という意味があります。いつの時代においても子育ての“最”重要キーワードだと思います。

※答えは8ページにあります。

タテのカギ

- 1 子育て中の親の口ぐせ No.1(おそらく)
「○○○しなさい」
- 2 次の漢字は、なんと読むでしょうか。
「こそだての“骨”をしりたいな」
- 3 男の子の子育てが大変。私の息子は、目を離すとすぐにいなくなるんです。ホント、油断も○○もないんです。
- 4 張り合うと、親子ゲンカが長引きますよ。
- 6 「上手な子どものほめ方と○○○方」
親にとって、永遠のテーマかも…
- 7 最近あった、ある親子の共感話。
子：「あ～疲れた～。ホント、肩が○○。」
親：「あら、あなたも。おつかれね。」
- 9 親が見せると、子どもに安心感を与え、自信につながるもの、それは…。
- 10 子どもをやる気にさせる言葉がけの例
× おもちゃを、しまいなさい!
◎ おもちゃを、し○○うね!
- 11 ズバリ! 早ね・早起き…何ごはん?
- 12 親が子どもに期待をかけ過ぎると、その○○で押しつぶされてしまう危険性があるので、ご注意を!

ヨコのカギ

- 1 思春期の代表的な特徴でもあり、多くの親が悩んでいる「○○○○期」
- 4 「子どもが寝たあと、何も考えず、ゆっくりと、お気に入りのお茶を飲む」これが、私の“○○抜き”法
- 5 子どもがもつ想像力を○○して遊ぶ「ごっこ遊び」。実は、子どもへのメリットがとても多過ぎてご存知ですか。
- 7 ○○成語やことわざって、改めて読むと、子育てにも役立つものがありますね。
- 8 子どものよくないと思われることも、見方を○○○と、子どものいいところを発見するきっかけになるんです。
- 11 「○○○とう」って、感謝以外に、自分や相手の存在価値を高める効果もあるなんて驚きですね。
- 12 「ねえ、○○信号は、なんでミドリ色なの?」って、聞いてきた子どもを、あなたなら、どう“ほめ”ますか?
- 13 ○○○だいをすることの効果の1つに、「思いやりの心が育つ」というのがあるんです。

どの“カギ”が、あなたの心に残りましたか?

平成30年から始まった「ガッチリ運動」も、今回で第3弾となります。
テーマは、子育ての重要キーワードでもある「子どものほめ方」についてです！

令和2年度・3年度共通

親子のきずな



第3弾

ガッチリ運動

今回のテーマ

子どものことを “もっと具体的に” ほめよう

“子どものほめ方”のコツ(一例)をご紹介します。ご参考にしてください。

「すごいね」「えらいね」「よくできたね」など
よく使われる“ほめ言葉”に
“どんなこと”をプラスしましょう！

例:お片付けをしたとき



すごいね



お片付けが一人で
できて、すごいね

「見てくれた」「わかってくれた」など
安心感につながります。

“できたこと”を
“そのまま”伝えるだけでもOK

進んでお手伝い
できたね



元気のいい、
あいさつだね

“それいいな”と感じた行動をそのまま伝えましょう。

結果だけでなく過程を“ほめて(認めて)”

がんばっているね
(がんばっていたね)



難しかったけど
最後までやりきったね

思春期のお子さんにも効果的です。

「感動」・「感謝」にも“ほめ”効果が！

ありがとう

助かったよ



ママ(パパ)はうれしいよ

一緒に〇〇できて
楽しかったね

お子さんの笑顔にもつながります。

△注意△ “具体的”と言っても、次の“具体的”は、逆効果!!

他の誰かと比較してほめる

「〇〇ちゃんより上手にできて、すごいね。」

結果重視にほめる

「100点とって、頭がいいね」

「才能があるから優勝できたんだね」

※誰かより優れていないと「ダメ」だと
感じ、自信がもちづらくなる。

※「失敗＝自分の能力の無さ(低さ)」と
思い、失敗を恐れ、次のステップへ
の挑戦を怖がったりするようになる。